



実りの秋へ ～4年外国語活動・2年生活科・砂川小訪問～

秋は、勉強に運動に絶好の季節です。これからマラソン大会や学習発表会と行事も盛りだくさん予定されているところですが、学習面では9月に二つの研究授業が行われました。

まず9月7日には、4年生が外国語活動の研究授業を行いました。新しく来たALTのセリーン・チェン先生と連携しながら、外国の文化や外国語への興味を高めることをねらいとした授業でした。晴れた日や雨の日の、日本と外国の遊びを比較することを通して、他の国の生活に興味をもつこと、そして、遊びに誘う言い方に慣れ親しむという授業です。セリーン先生はシンガポールの子どもたちの遊びを紹介してくれました。子どもたちは紹介された遊びに興味津々で、楽しそうに取り組んでいました。授業はオール・イングリッシュで進められたのですが、子どもたちが英語での指示をちゃんと理解し、それに反応することにも感心しました。指導主事の先生からも、本校のオール・イングリッシュでの外国語活動への意欲的な取組に、お褒めの言葉をいただきました。



英語がペラペラの梅川先生

また、9月20日は2年生が生活科の研究授業を行いました。この日は、昨年から引き続き北海道の砂川小学校からも5名の先生方が来校されました。その他にも、生保内小学校、西中学校、大川西根小学校の先生方も参観にお出でになり、子どもたちよりも多い先生方に囲まれての授業になりました。授業は、「おもちゃランド」をひらいて1年生を招待する計画をしている子どもたちが、1年生に楽しんでもらえるよう、お互いの取組のよさや工夫に気付くことをねらいとして行われたものです。魚釣り、ロケットポン、パッチングエル、ぴよんウサギ、とことこカメ、ヨットカー、ふくろロケットと、子どもたちが1年生を楽しませるために考えたおもちゃで実際に遊び、もっと工夫できることはないかをアドバイスカードに書き込みながら、生き生きと活動する姿が印象的でした。



多くの先生方の中で授業する2年生

そして、次の時間は2年生を除く全学級が国語と算数の授業を公開し、砂川小の先生方に見ていただきました。砂川小学校は、昨年も本校の授業視察に来校されましたが、今年も本校の子どもたちの授業や学校の様子に直に触れ、肌で感じ取り、授業や学校経営に生かしていきたいと、開校記念日を利用して5名の先生方がお出でになりました。国語や算数で活発に意見を交換しながら学習を深め、ねらいに迫っていく本校の子どもたちの様子に大変感動したとお話されていました。



5年ジグソー型学習を視察する砂川の先生方

一年の半分が終わろうとしています。これまでの取組を振り返り、修正を加えながら実りの秋に向けてがんばっていきたいと考えています。